



九十九里町の公共交通がめざすべき姿・方向性



本町の現状、課題と将来に向けたまちづくりを踏まえ、以下を九十九里町の公共交通がめざすべき姿（基本理念）及び今後の取り組みの方向性（基本方針）とします。

■ 九十九里町の公共交通がめざすべき姿（基本理念）

みんなで考え、みんなで使って未来につづく
公共交通が、日々のくらしやまちづくりを支え、
にぎわいのある九十九里の実現
をめざします。



九十九里町の公共交通は、みんなで考え日々の暮らしに使いやすい外出手段にしていくとともに、高齢者や学生等のクルマを運転しない人だけでなく、町民や来訪者のみんなが、使える時には使うよう心がけることによって未来まで持続し、いきいきとした暮らしや、賑わいのあるまちづくりに貢献していくことをめざします。

■ 今後の取り組みの方向性（基本方針）

方向性 1

町の公共交通を将来にわたり持続します。
（バス・タクシー）

- 九十九里町のバス、タクシー等の公共交通を将来にわたって持続し、日々の暮らしやまちづくりを支えていくことをめざします。
- そのため、利用状況等に応じて定期的な見直しを行いながらバス、タクシー等を持続的に運行するとともに、日常的な利用客の確保、効率的・安定的な運用のための方策に取り組みます。

方向性 2

**地域の実情に応じた外出手段を確保し、
日々のお出かけを便利にする調整・工夫をします。**

- 高齢者等をはじめ、町内の各地域で暮らす町民が日々のお出かけで便利に使える公共交通サービスをめざします。
- そのため、地域に見合った形で外出手段を確保するとともに、可能な調整・工夫による方策を検討し、町内外への外出手段の利便性向上に取り組みます。

方向性 3

**使ってみたくなる利用環境をつくります。
(わかりやすさ・やさしさ)**

- 公共交通をほとんど使ってこなかった人や、不慣れな高齢者、町外からの来訪客等にもわかりやすく、人にやさしい公共交通をめざします。
- そのため、町の公共交通全体のわかりやすさ、乗り場での案内の充実、待合環境や人にも地球にもやさしい利用環境の充実に取り組みます。

方向性 4

**クルマだけでなく、使える時には少しずつでも公共交通
を考えるように、意識の変容を促していきます。**

- 少しずつでも、町民等が、クルマしか使わない行動スタイルを見直すよう促すとともに、地域の公共交通のことを、地域で考え、使える時に使って守る意識を育むことをめざします。
- そのため、町民の一人ひとりや地域が公共交通のことを「考える機会」を提供する取り組みを行います。

方向性 5

まちの賑わいに貢献する方策を模索します。

- 本町には「九十九里浜」という魅力的な観光資源があります。多くの人が本町に來訪し周遊・回遊することで、公共交通が、まちのにぎわいに貢献する可能性を模索します。
- そのため、観光・集客等と公共交通が連携した企画や、来訪者の利便性の向上につながる方策の検討に取り組みます。